


# 川崎地区

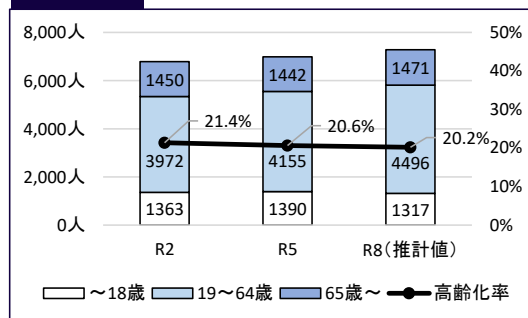
## ◆概要

	【位置図】	まち協名	川崎地区まちづくり協議会		
		所在地	亀山市川崎町2785-6	電話	0595-85-0101
		地区構成	田村町 長明寺町 太森町 川崎町 能褒野町		
		地域特性	亀山市の北東部に位置し、市内22地区の中で2番目の人口を有し、広大な土地は自然豊かで、とりわけ安楽川・八島川・御弊川の三川がその特徴といえます。員弁と亀山を結ぶ巡見街道が通る要衝の地であり、多くの企業進出もあり工業と農業が調和したまちといえます。一方では、古墳群、県史跡指定の峯城城址及び、伝説上の英雄でもあるヤマトタケルの御陵である能褒野神社等、歴史的な史跡も存在します。		
面積	1,152.4ha	ホームページ	<a href="http://www.za.ztv.ne.jp/kawasakimachikyoo/">http://www.za.ztv.ne.jp/kawasakimachikyoo/</a>		
めざす姿	地域住民がふれあい、支え合いで「かわさき」に住んで良かったと思えるまち				
地域の誇り	子どもから高齢者まで、住民が誰でも参加できる事業が展開されている				

## ◆人口

	令和2年	令和5年	令和8年 (推計値)	増減	
総人口	6,785人	6,987人	7,284人	202人	
人口密度	5.89人/ha	6.06人/ha	6.32人/ha	0.18人/ha	
65歳以上	人口	1,450人	1,442人	1,471人	-8人
	比率	21.4%	20.6%	20.2%	-0.7%
18歳以下	人口	1,363人	1,390人	1,317人	27人
	比率	20.1%	19.9%	18.1%	-0.2%
外国籍	人口	269人	329人		60人
	比率	4.0%	4.7%		0.7%

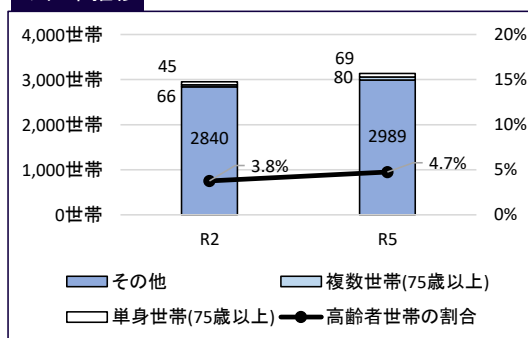
## ◆人口推移



## ◆世帯

	令和2年	令和5年	増減
総世帯	2,951世帯	3,138世帯	187世帯
単身世帯 (75歳以上)	66世帯	80世帯	14世帯
複数世帯 (75歳以上)	45世帯	69世帯	24世帯
高齢者世帯割合	3.8%	4.7%	1.0%

## ◆世帯推移



## ◆介護保険認定者

	令和2年	令和5年	増減
要支援1.2	74人	67人	-7人
要介護1～5	193人	168人	-25人
合計	267人	235人	-32人

## ◆地域組織

	令和2年	令和5年	増減
自治会	15	17	2
老人クラブ	4	2	-2
子ども会	10	10	0

◆福祉・医療・教育等に関する社会資源

民生委員・児童委員	9
主任児童委員	1
福祉委員	28
介護保険施設・事業所	6
サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホーム	4
障がい福祉施設・事業所	2
児童福祉施設・事業所	1
病院・一般診療所	2
歯科診療所	2
薬局	2
保育所	2
幼稚園	0
認定こども園	0
放課後児童クラブ	3
放課後子ども教室	1
子育て支援センター	1
学校(小・中・高)	2
乗り合いタクシー停留所	38

◆担当地域包括支援センター

亀山第1地域包括支援センター ぼたん

◆サロン活動

	令和2年	令和5年	増減
ふれあいいきいきサロン	11	10	-1
子育てサロン	0	0	0
コミュニティサロン	1	1	0

◆福祉委員会活動

◆構成員 まち協役員 福祉委員

◆活動内容

【訪問活動】

一人暮らし高齢者、見守り等支援の必要な方を中心に地域で顔の見える時間を作り、仲間を作ることを目的に随時訪問活動を行っています。



かわさきふれあい文化祭



かわさきふれあいフェスタ

◆まちづくり協議会の恒例事業

- ・かわさきふれあい文化祭
- ・スポーツ大会
- ・グラウンドゴルフ大会
- ・かわさきふれあいフェスタ
- ・門松作成
- ・イルミネーション飾り付け
- ・熟年の集い

◆生活支援コーディネーターからのコメント

川崎地区の人口は市内で2番目に多い6,987人で、令和2年度と比較し人口が202人増加しており、そのうち20.6%にあたる1,442人が65歳以上です。地域内人口の4.7%にあたる329人が外国籍です。地域の特色として、近年ミニ開発が行われるとともに、大型スーパーや医療機関が立地し、鈴鹿市へのアクセスも容易であることから、生活しやすい環境が整備されていると考えられます。地域活動として、令和5年度はまちづくり協議会設立10周年を記念した行事が3回開催されました。特に9月に開催された「川崎まつり」では、約1,000名近くが来場し、地域に多く住む若い世代や外国籍の住民なども交流できる場となりました。また、「誰もが安心して暮らしていける川崎」の実現に向け、自主防災意識の向上を図ることを目的に今年度より防災部を発足して、避難訓練などを行っています。能褒野町では、認知症高齢者など行方不明者が発生した際に自治会LINEで情報共有を行う「のぼのあんしんネット」の仕組みを整えています。現在、まちづくり協議会では日常生活のちょっとした困り事を住民同士で解決できる仕組みづくりを進めていこうと話されており、今後、ちょこボラ団体設立に向けて意識の醸成を図ることが期待されます。